

2 県民の命を守る事前防災・減災対策の推進

洪水を防ぐ

1 河川の改修

問合せ先 河川課

本県は、これまで幾度と無く集中豪雨による洪水に見舞われ、近年でも毎年のように浸水被害が発生していることから、洪水から沿川の人命や財産を守るために、河川の改修を推進します。

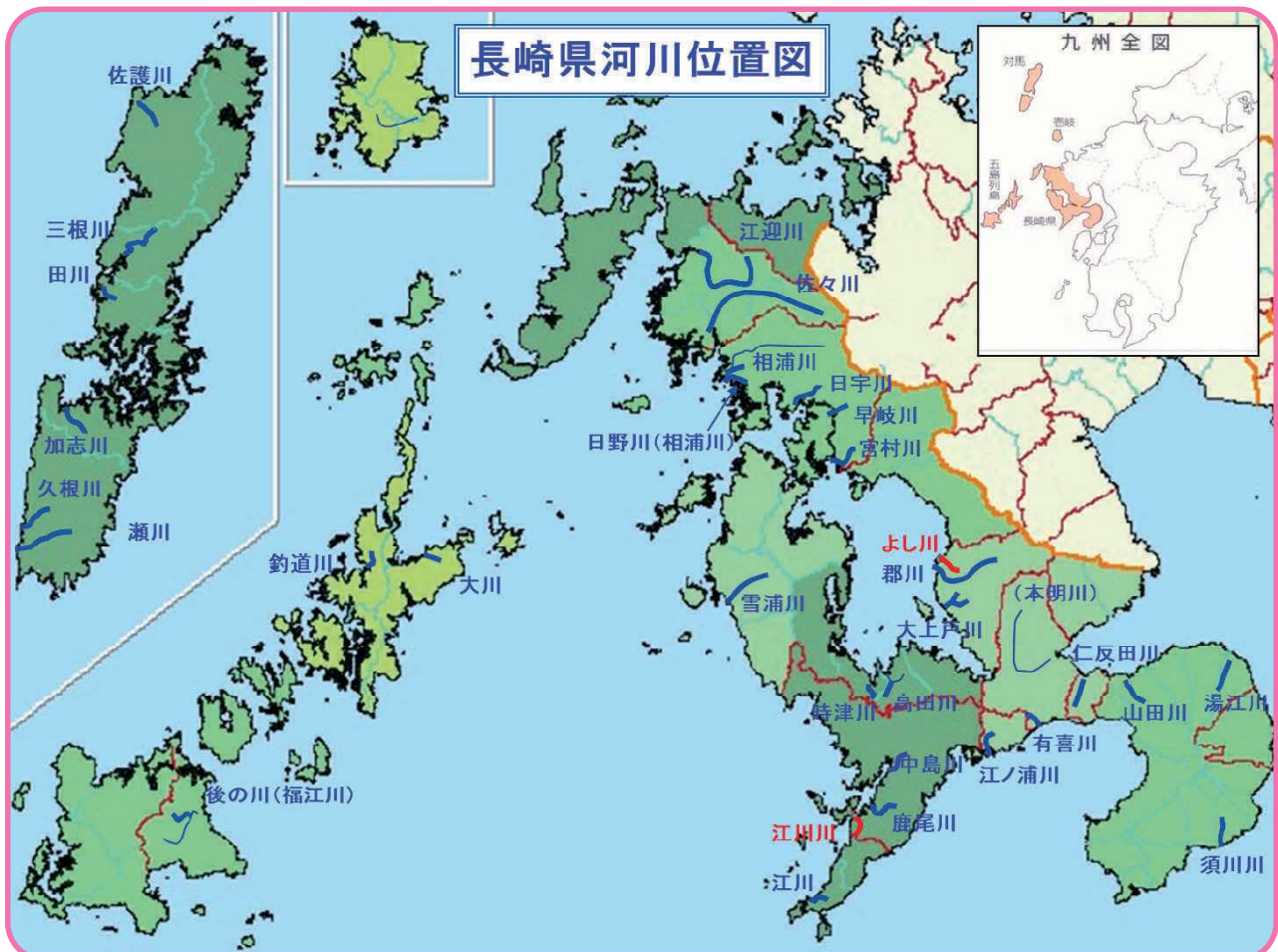
浸水状況



【令和5年度事業費】

C=1,962百万円 (県事業)

時津川(時津町)、江ノ浦川(諫早市)、山田川(雲仙市)
早岐川(佐世保市)、佐護川(対馬市)など32河川

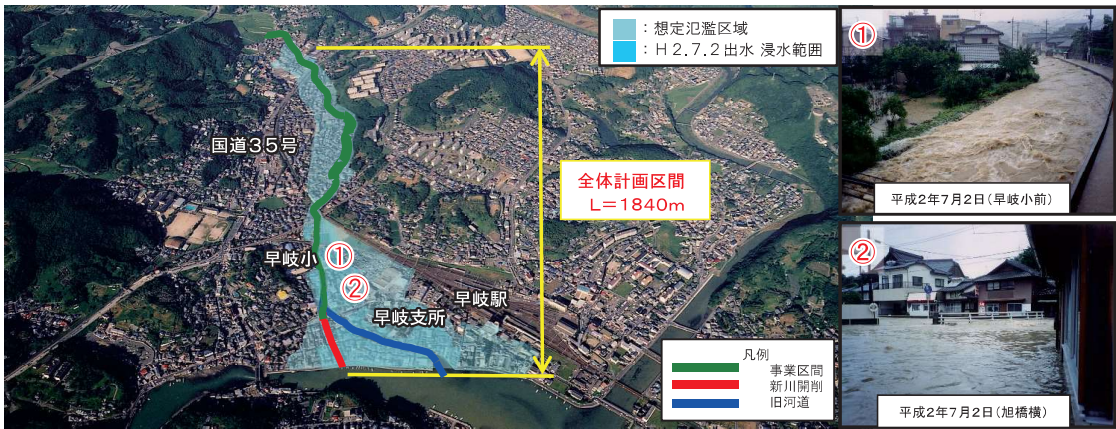
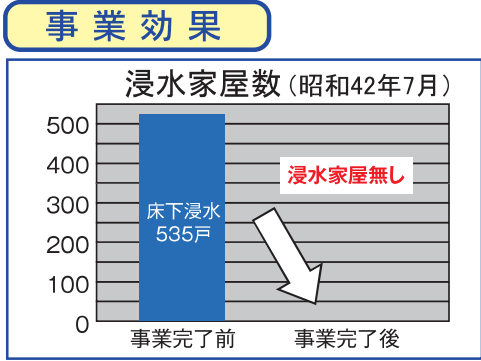


早岐川河川改修事業

二級河川早岐川水系早岐川は、昭和42年7月の豪雨により、浸水面積70ha、床下浸水535戸、平成2年7月の豪雨では、浸水面積10ha、床上浸水82戸、床下浸水117戸の甚大な被害が発生した。
このことから、平成26年度～令和15年度までに新川開削、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替等の河川改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。

【全体計画】
 河川名：二級河川早岐川水系早岐川
 事業内容：改修延長L=1,840m
 新川開削、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替等
 全体事業費：90億円（国費45億円）
 事業期間：H26～R15
 施工地：佐世保市

【令和5年度予算】
 事業費：1.9億円
 工事概要：橋梁工等

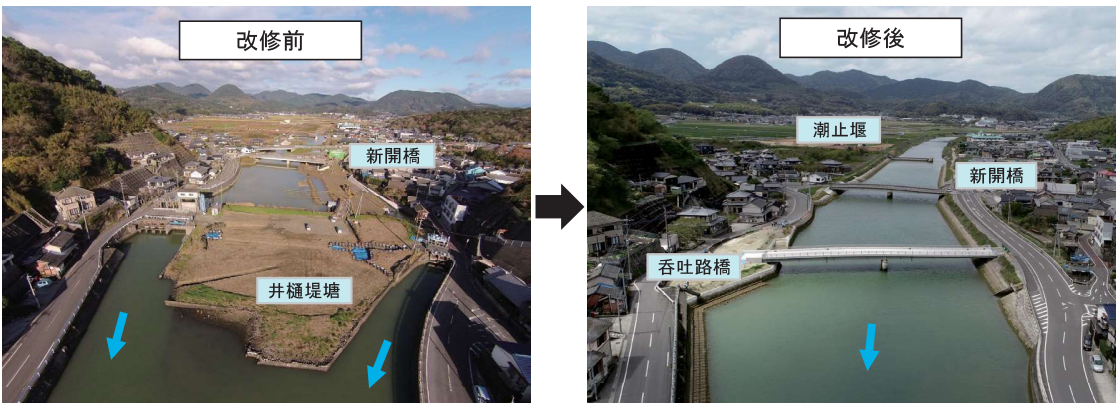


江ノ浦河川改修事業

二級河川江ノ浦川水系江ノ浦川は、昭和57年7月の豪雨により、床下浸水480戸、浸水面積105haの甚大な被害が発生した。
このことから、平成8年度～令和10年度までに河道拡幅、樋門撤去、橋梁架替等の河川改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。

【全体計画】
 河川名：二級河川江ノ浦川水系江ノ浦川
 事業内容：改修延長L=2,290m 河道拡幅、樋門撤去、橋梁架替等
 全体事業費：85億円（国費42.5億円）
 事業期間：H8～R10 施工地：諫早市

【令和5年度予算】
 事業費：1.5億円
 工事概要：橋梁工等



2 ダムの整備

問合せ先 河川課

洪水被害から沿川の人命や財産を守るとともに安定した水源の確保のため、ダム建設を推進します。

洪水の状況



長崎大水害 (S57.7.23) の被災状況



平成2年水害 (H2.7.2) の被災状況

川棚町



長崎大水害 (S57.7.23) の被災状況

長崎市街



諫早大水害 (S32.7.25) の被災状況



平成11年7月23日豪雨の被災状況

諫早市街

渇水の状況



散水車で
水を陸上輸送



船舶で水を海上輸送



本明川の渇水状況

佐世保市 ○平成6年8月1日～平成7年4月26日
日本一厳しい給水制限264日間



佐世保市転石ダムの渇水状況

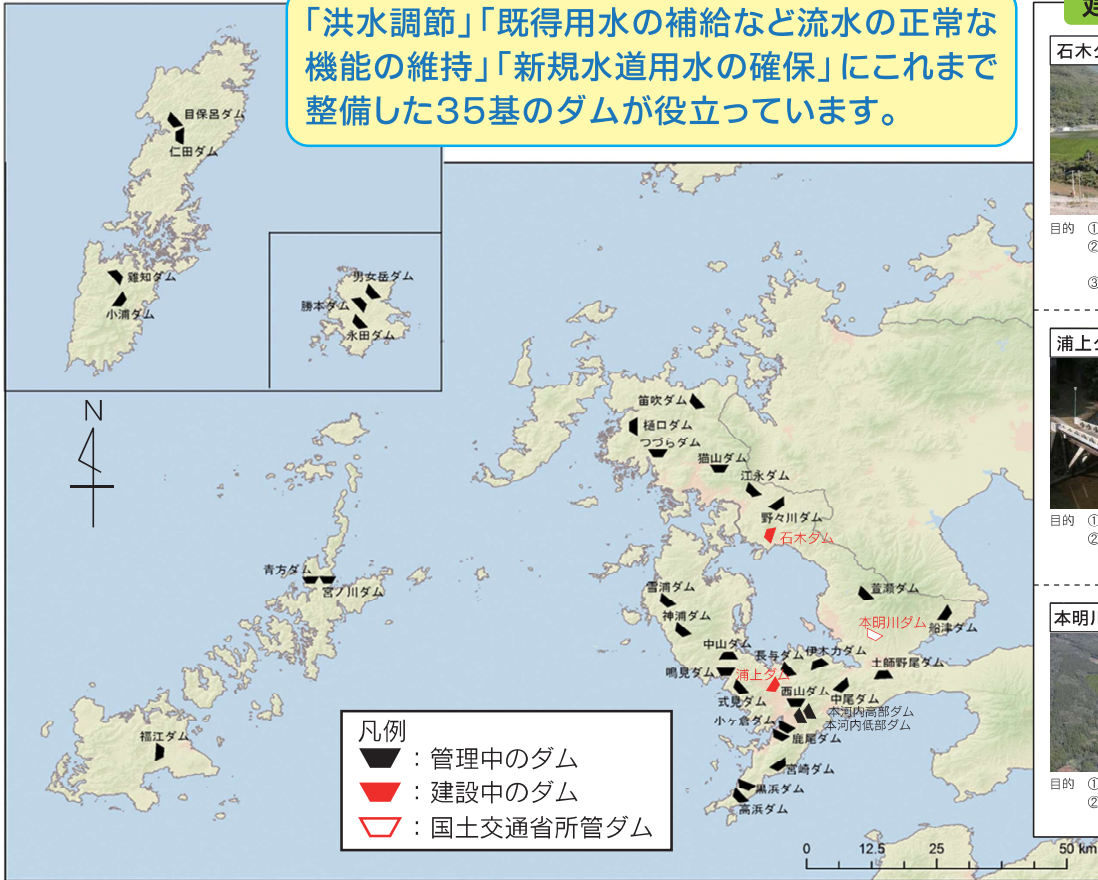


本明川の渇水状況

諫早市 ○本明川の水が不足し、魚が大量死
水不足による農作物被害約1億5千万円

土木部所管のダム

「洪水調節」「既得用水の補給など流水の正常な機能の維持」「新規水道用水の確保」にこれまで整備した35基のダムが役立っています。



建設中のダム



石木ダム(川棚町)
 目的 ① 川棚川の洪水調節
 ② 川棚町、佐世保市の既得用水の補給など、流水の正常な機能の維持
 ③ 佐世保市の新規水道用水の確保



浦上ダム(長崎市)
 目的 ① 浦上川の洪水調節
 ② 長崎市の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持



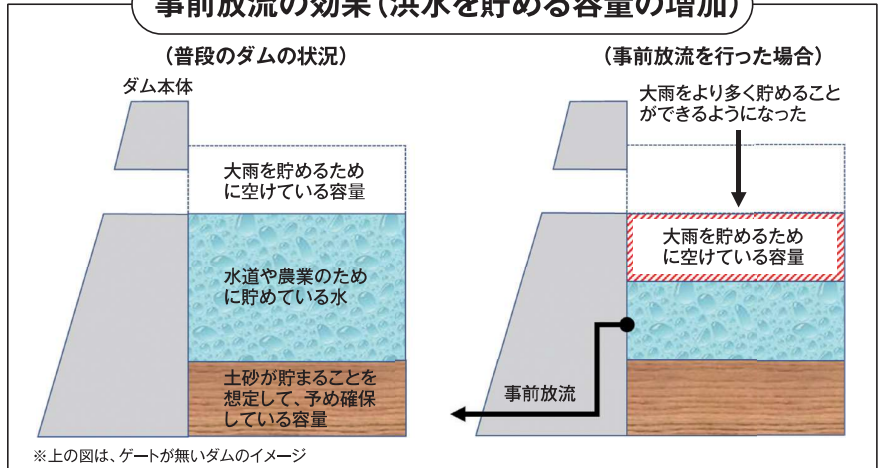
本明川ダム(諫早市)
 目的 ① 本明川の洪水調節
 ② 諫早市の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持

既存ダムの事前放流

ダムの事前放流とは、台風などによる大雨が予想される場合に、水道水や農業に使うために貯めている水の一部を、前もってダムから放流することです。これによって、大雨による水をより多く貯めることができるので、洪水被害を少なくすることができます。

長崎県では、47のダム※1(令和5年3月末時点)で、事前放流ができるようになっており、地域の皆様がさらに安全で安心した暮らしがおくれるよう取り組んでいます。

事前放流の効果(洪水を貯める容量の増加)



※上の図は、ゲートが無いダムのイメージ

令和2年9月に対馬市の小浦ダムなど、県内の9ダム、令和4年9月には五島市の浦の川ダムなど県内2ダムで事前放流を行いました。このダムからの放流中には、川の下流のパトロールを行い、いずれも事前放流による河川の急激な水位上昇もなく、事前放流を安全に実施できることを確認しています。

※1 農業用、水道用の利水ダムも含む

